

## 講演テーマ 「水素社会は世界を救う《海洋が創る水素社会》」

- 日時 2019年2月20日(水)
- 場所 コロリサーチ株式会社 新中野コロリサーチビル地下ホール
- 参加人数 14名
- 担当幹事 佐藤郁夫

第359回オプトフォーラムは、東海大学名誉教授、元東京工業大学特任教授、光交流会アドバイザーの村原正隆先生をお招きして「水素社会は世界を救う《海洋が創る水素社会》」というタイトルでご講演を頂きました。

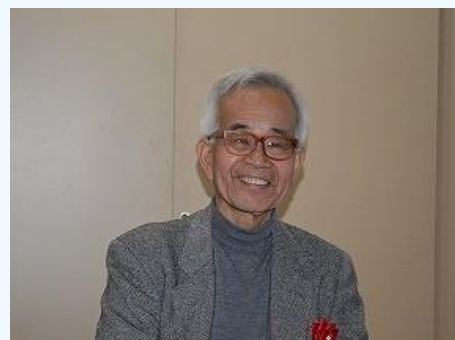
元々は光学の研究者であり、エキシマレーザーを用いたSiO<sub>2</sub>薄膜形成/フッ素樹脂膜の表面改質の研究では世界の第一線を歩まれた村原先生ですが、どのような経緯で新エネルギーとしての水素の研究に移行されたのか、そして水素を固体化するために採用した「塩」のエネルギー化のアイデアと具体的な実現方法などをお話し頂きました。今後のエネルギー問題の解決の糸口になるような、先進的で具体的な内容で、参加した皆さまが引き込まれるお話でした。

アイデアに溢れ、国際および国内特許を100件以上お持ちとも伺いました。79歳になられた今でも論文執筆や特許出願などにエネルギーに組み込まれておられる村原先生の熱意溢れるお話しに、参加者一同大変な感銘を受けました。

このような素晴らしいお話を、より多くの方々に聞いて頂きたいと強く思いました。オプトフォーラム終了後は新中野駅近くの居酒屋「文鳥」にて懇親会を行いました。ここでも活発に先生とのディスカッションや質疑応答が繰り返され、大変盛り上がりました。

最後に、ご講演頂きました村原先生に厚くお礼申し上げます。

2019年2月21日 担当幹事 佐藤郁夫



### 【村原正隆先生ご略歴】

1939年生まれ。早稲田大学理工学部資源工学科、同理工学研究科・修士/博士課程終了後、私立早稲田実業高校講師、私立栄光学園講師、東海大学工学部電気工学科教授、2005年から東海大学名誉教授、同年9月より東京工業大学特任教授。通産省工業技術院科学開発プロジェクト・先端機能創出加工技術(ACTA)評価委員などを歴任。

### 【著書】

2011年『再生可能エネルギーを考える《原発に有終の美を》/パワー社出版』、2007年『“風力よ”エタノール化からトウモロコシを救え《風力発電による海洋資源回収と洋上基地》/パワー社出版』、1986年『エキシマレーザー最先端応用技術/CMC出版』他多数。



当日は第31回総会が開催されました。



懇親会 居酒屋「文鳥」